

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	観光名所（職員）	・2、3か月後は、行楽シーズン中であり、団体客数は現在の約2倍になる予想であり、個人客も大幅に増える。
	やや良くなる	一般小売店〔カメラ〕（店長）	・周りから同業者が撤退して競合相手の減少もあり、今後は昨年よりプリント関係の伸びが期待できる。デジタルカメラも一眼レフタイプが好調で、今後発売になる新製品も予想されるので、やや期待される。
		百貨店（売場担当）	・新たに出店している量販店等安めのものを扱う店と当店のような年齢、単価の高い層をターゲットとする百貨店では客層が二極化するが、若い人でも良いものを長く着る傾向があり、土日もかなり来客があり、2～3点購入していく。若者層の売上が大きく上乗せされ、景気も少しずつ回復していくのではないかと。
		スーパー（店長）	・昨年は、消費税総額表示導入後、4月～6月まで買上点数減少、税丸飲みによる1品単価の下落等で売上が落ちてきている。逆に、今年は、前年売上確保が比較的可能な好条件になっている。
		スーパー（店長）	・5月末から6月始めに店舗改装の計画があり、集客、売上面で改善される。
		スーパー（企画担当）	・販促、企画の見直しにより低価格帯の商品群を中心として点数が伸びつつあり、この状況は今後も続く。
		衣料品専門店（店長）	・天候が回復して、スーツ等が動き始めると、昨年販売量が低迷したので今年は買い替えのサイクルと予想され、上向く。
		衣料品専門店（店長）	・女性客を始めとした新規客層の取り込みが見込めることと、購買動機として価格ではなく、デザイン、ファッション性を重視する客層が増えてきている。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車効果、および、低年式、極低年式車が増えつつあり、代替えが促進されることが期待される。
		自動車備品販売店（経営者）	・高速道路の建設で幾分、建設機械、ダンプ類が動くため、多少は良くなる。
		観光型ホテル（経営者）	・現在の厳しさから比べれば、今後の来客は多少良くなっていく。ゴールデンウィークの期間はあまりにも長いので特定の日だけの入込となっている。
	住宅販売会社（経営者）	・展示場来場者の動きは慎重であるが、真剣に検討する傾向が見られるので受注に結びつく。	
	住宅販売会社（従業員）	・4月に入り、明らかに住宅取得を年内に考えている客が動き始めている。2カ所の新しい住宅展示場のオープン直前であるが、既に内覧客も多く、自社所有の宅地を合わせた受注確約が取れている。	
	変わらない	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・雑誌はメーカーの付録をつけた販売促進展開など、意欲的であり、売る側の工夫次第で多少の底上げが可能な状況である。書籍は今後も売上をけん引するジャンルの出現が続くと考えられるが、全体にして見れば引き続き低迷基調である。
		百貨店（広報担当）	・顧客の購買動向に依然として慎重な動きが見られる。セールやバーゲンの時期が年々早まる状況が定着し、顧客の中にそれを待つという状況がある。消費が一層モノ消費からコト消費に流れており、単に衝動的に購入するということが少なくなっている。
		スーパー（経営者）	・震災復旧のため、一時的にでも雇用が増加中である。
		スーパー（経営者）	・業種、業態間を問わず出店も現在止まっておらず、競争の激化も厳しさを増しているだけで、収まる気配はない。一品単価の下落、買物する店舗の分散化に拍車がかかっている。消費に関しては堅実な動向は続くものの楽観的推移は期待できず、現状のまま推移する。
		スーパー（店長）	・オーバーストアと言われる中で、競合の新規出店、リニューアルオープンが続いており、相変わらず過激な価格競争が続いている状況で、差別化できる商品は良いが、ナショナルブランド商品はどこまで下げるのかという状況である。
		衣料品専門店（経営者）	・大企業は好況であるが、地方の中小企業は依然として厳しく、なかなか景気回復基調には向かわない。特に消費が活発にならなければ景気は上昇しない。
衣料品専門店（店長）		・春物カジュアルの動向が20代から50代の客層に好調であり、夏物もそれら客層に合わせた商品が提案できるため、このまま期待が持てる。	

	乗用車販売店（経営者）	・各メーカーが更に発表する新型車効果と震災特需の継続は期待できるが、ガソリンの値上げなどから高額車を敬遠する動きも見られ、売上単価の減少も懸念される。
	乗用車販売店（経営者）	・4月に続き、5月も新型車の発売が予定されており、かなり集客が期待される。
	住関連専門店（経営者）	・家具本来の需要が減退している中で、いろいろな商材を考へなければならぬ。様々な催事を実施しても、客が乗ってこない。
	その他専門店〔呉服〕（経営者）	・生活が不安なので買い渋りが見られる。
	その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・企業努力も多分にあるが、流れに乗れてない。取引のラインが薄い企業がほとんどである。今後、上下の差が大きくなっていき、全体的には片寄りがありすべてに良いとはいえない。
	その他専門店〔酒〕（営業担当）	・これから冷酒などの季節になるので期待できるが、過大なものではなくこのまま推移する。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・石油業界は、5月にも値上げが控えており、需要の減退が予想される。末端価格への転嫁がうまくいくのか微妙であるため、粗利益の減少が予想される。官公庁の新年度予算が執行される6月あたりまで状況は厳しいものと思われる。地元で稼働している工場の動きも悪いため、農産物が動き始める季節まで状況は変わらない。
	高級レストラン（支配人）	・2、3か月先は、宿泊予約は前年を上回っている。宴会は婚礼、法人宴会が減少傾向である。レストランについては昨年とほぼ変わらない。
	高級レストラン（支配人）	・一般宴会は増加傾向にあるが婚礼が減っており、売上も横ばいになっている。今後の婚礼受注も例年よりも悪くなっている。
	その他飲食〔そば〕（経営者）	・安い値段の商品ばかりが売れて困ると言っていた近所の弁当屋が閉店し、ファッション関係の店が開店する。近所の店舗の変化が激しく、それが人の動きにどのように変化をもたらすか心配である。
	観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊単価の低減が問題であったが、多少単価の回復の兆しが見られるようになった。
	観光型旅館（経営者）	・ゴールデンウィークはそこそこ入ったが、6、7月の予約の足は前年よりも遅い。自社ホームページによるインターネットでの予約は相変わらず好調である。空き部屋を早めに見切りをつけ、インターネットの販売にも重点を置いていく。
	都市型ホテル（スタッフ）	・5月に新しいホテルができる。来年も2つのホテルが着工予定である。徐々に悪くなっていくと考えられるが、とりあえず年明けの状況を維持していけるのではないかと。
	都市型ホテル（スタッフ）	・ここ2、3カ月の動きが大変重要な時期である。震災復興に向けて動きが出ているので、確実なものとしてできるか、一般消費者のマインド向上できる施策、商品を企業が提供できるかが重要である。
	都市型ホテル（スタッフ）	・営業活動の中では、昨年各企業の反応が鈍かった竣工、周年行事に手ごたえを感じる。結果が出るまで判断ができないが、感触は良い。
	タクシー運転手	・景気の先行きは全く見えず、生活給の確保ができず、乗務員が退職していくところが多い。各社は乗務員不足のため空車が増えている。ある企業では、これを補てんするため毎日乗務しているところがある。
	設計事務所（経営者）	・暖かくなり、仕事は少しずつ入ってきており、忙しくなっているが、単発で終わり続かない。
	住宅販売会社（従業員）	・鋼材の値上がり等の原価アップ要因が顕在化してきており、利益が圧迫される懸念が強まってきている。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・当地域では、可処分所得が増える状況にない。食品、石油製品の値上げが家計を圧迫する可能性が高い。
	スーパー（経営者）	・大手のスーパーが、零細中小スーパーが実施するような戦略、例えばサービス品の提供、ポイントカードなどに本気で取り組んできており、2、3か月で定着すると、価格以外の競争が本格的に激化する。
	スーパー（店長）	・ガソリンの価格の値上がり、商品単価に影響する。
	衣料品専門店（経営者）	・健康、旅行、サービス業に関する需要が先行し、特にアパレル、繊維、ファッション関係の買い控えの傾向がますます厳しくなっている。

	住関連専門店（経営者）	・衣料品については、天候に左右されることが今までは非常に大きかったが、現在は、天候要因よりも衣料品に対する客の購買意欲が低下しているため、今後購買意欲の向上は考えられない。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・焼酎ブームが一段落しつつあることに加え、第3のビールが目されるようになり、厳しい価格競争がさらに強まっている。	
	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・夏場に向けて夏物の商品が動く。しかし、新入社員の減少、経費節約のために夏物については、あまり動かなくなっており、単価も低くなっている。売上に響いてくる。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ガソリンの値上がりで様々な価格に跳ね返りがあり、市場は良くならない。	
	高級レストラン（経営者）	・中国の問題もあり急激にブレーキがかかっている。このままでは相当悪くなる。	
	一般レストラン（スタッフ）	・ガソリンが高くなっていることと、中国の反日運動の影響で悪くなる。	
	都市型ホテル（経営者）	・先月は予約状況がやや好調であり、売上が良かった。3か月先の予約状況はあまり良くない。売上の大きいウエイトを占める婚礼受注が少ない。しかし、今年の後半の受注は盛り返しているため悲観的ではない。	
	悪くなる	スーパー（経営者）	・オーバーストアの状況が続くことと、土建業者の公共事業の仕事、民間企業の仕事が激減している。
		タクシー運転手	・タクシーは増えるが客は減っている。朝から晩まで毎日運行しても生活が成り立たない状況も見られる。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・地域性にもよるが、春から夏にかけてリフォーム関係が増える。新築の件数も受注している。
		その他企業〔管理業〕（従業員）	・半導体の浮き沈みは、底をついて、これから上り傾向になる。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・昨年の高収入が今年の収穫月の7月までの消費と生産資材に影響する。
		食料品製造業（経営者）	・アメリカからの牛肉輸入解禁の見通しが立っていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・昨年より試作していた製品の評価が終わり、引合いが来ている。具体的数字が見えず情報だけが先行している。原材料の高騰により、採算が悪化傾向にあることが心配であり、客からのコストダウン要求とあいまってダブルで効いている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・デジタル家電が飽和状態のため、2～3カ月先も現状維持である。
		建設業（従業員）	・民間の設備投資がそれなりに継続する中であって、公共投資の減少傾向がある。
		建設業（企画担当）	・東北地区における公共工事の減少はまだまだ続き、増加の兆しささえ見えない。また、民間についても市内で一部外資系会社の動きがあるものの、コスト的にも厳しく、好転の要素が見られない。
		輸送業（経営者）	・ガソリン値上がりが治まらない限り、この状態は続く。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・外からの景気活発化の影響が地元でどのような刺激を与えるのか、誘発されるのか、負けてしまうのかまだまだ様子見の状態、一概に好転するとは言えない。新聞購読については長期読者でストップする人がいる一方で今までにない客層が申し込む場合もあり、これもしばらく様子見の状態である。
		司法書士	・新築建物、分譲地等の不動産取引は低調であるが、中古不動産の取引が多い。
		コピーサービス業（経営者）	・5月は連休の影響で悪くなる時期であるが、4月の状況から見ると変わらず推移する。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・全国的な焼酎ブームは落ち着いてきたが、代わりに「梅酒」ブームの兆しがある。気温が上昇し始めるこの時期、日本酒はまだ苦戦する。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・2、3カ月前との比較で増加した状況が今後しばらく続く。
		やや悪くなる	食料品製造業（経営者）
		食料品製造業（経営者）	・ガソリン価格値上がりによる影響で、原料・資材等の値上がりもあり今後の見通しは厳しい。

		繊維工業（総務担当）	・産地においても良い企業、悪い企業があるが、その中でも自主廃業が引き続き起きている、競争が激化しているが、海外流入品の競合が第一の問題である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車部品については、比較的堅調に推移しているが、携帯電話用部品については今後も低い水準で推移する。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・現在の事業中核製品の顧客が、将来的にこれらの製品の製造を全て海外展開するとの新聞発表を行っており、不安定要因となっている。
		輸送業（従業員）	・中国との輸出入量が減少してきている。
		金融業（営業担当）	・公共工事の発注額が先行き不透明であり、建設業者の販売不振による倒産件数の増加も懸念される等、見通しはやや暗い。
	悪くなる	広告代理店（営業担当）	・売上のかなり大きな部分を占める携帯電話関係の広告投下に大きなブレーキがかかっている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・欠員の補充、繁忙部署への人的対応として引き合いは堅調である。注文に至らない引き合いも増えており、現状維持よりもやや良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・人材派遣の依頼だけにとどまらず、優秀な人であれば、正社員で採用したいという企業が増えている。人材紹介や紹介予定派遣など直接雇用を前提とした派遣サービスの依頼が増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒採用が上向くなど若年者採用を企業が検討している。今後の社員構成からの動きで、採用意欲向上は、景気に反映する。しかし、全体的傾向というより、業績が良い企業での動きなので、トータルで変わらない。
	変わらない	職業安定所（職員）	・雪だけで本格的な震災復興が始まり建設関連求人が増加しているが、長期的には先行きが見えない状況にある。
		職業安定所（職員）	・今後も求人数の増加傾向は続くが、求職者のうち、在職者と無業者の増加も見られ、また一部に企業整備の動きもあることから、有効求人倍率に大きな改善は見込まれない。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・現在は就業地が県外である請負業や人手が不足している一部の情報通信業からの大量求人申し込みがあるものの、管内を中心とした企業からの求人は伸び悩んでいる状況である。
職業安定所（職員）		・受注単価引き下げに加え、中国の影響による原油高・鋼材等素材の値上げにより、更に収益悪化が懸念される。	
	悪くなる		